

ニューオリンズ・ラスカルズ&加藤平祐 with Friends

「屋下がりのジャズライブ」に、久しぶりにラスカルズが出演します。
秋の屋下がり、シンプルで美しい「バガンディー・ストリート・ブルース」聴きながら、
至福の時間を…いかがでしょうか。 讃美歌&当時の流行歌を、NOジャズ特有の
ブルース&アンサンブルで演ずるラスカルズサウンドをお楽しみ下さい

11月3日(月・祝) PM2:00~4:00 「ニューサントリー5」
会費 2,500円 (1ドリンク付)

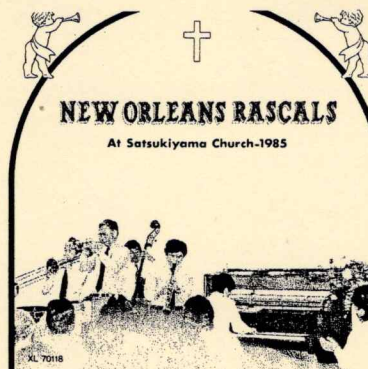
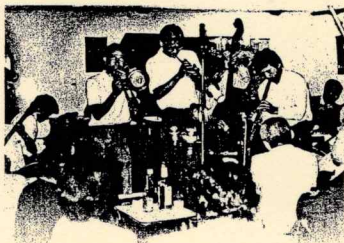
福田恒民(Tb) 川合純一(Bj) 尾崎喜康(P) 加藤平祐(Cl)
池本徳和(Tp) 田村浩一(Tp) 山田洋一(Tb) 村橋健(Bs) 梁瀬文弘(Ds)

(予・問) ODJC事務局 ☎06-6911-2531

LIVE at NEW SUNTORY 5

The New Orleans Rascals

— Volume II —



『ニューオリンズ・ラスカルズ—五月山教会』 1985年制作CD ライナーノーツから

末廣光夫さんの文章(抜粋です) 当時、神戸ジャズストリート実行委員長/ODJC会長

ジョージ・ルイス達を師と仰ぐニューオリンズ・ラスカルズの面々は、演奏プログラムにはきまって讃美歌が加えられる。これは当然ニューオリンズ・ジャズの伝統を受け継いだまでの事。アメリカですら教会でジャズを演奏する事には障害があった。まして日本では、すんなりと話しはいかなかったはずだ。そこはラスカルズの真のジャズのハートで教会を説き伏せたのか、この五月山教会をはじめ多くの教会で演奏経験をしているのは立派というはかはない。毎年、秋の「神戸ジャズストリート」(1983年初開催)が定例会場としている神戸バプテスト教会では、ラスカルズの演奏にあわせて観客が一緒に讃美歌を歌うのはご存じのこと、この録音テープをオーストラリアの人達に聴かせたら「歌っている人達は教会の信者？」と聞かれたくらい。また、ここで1980年ビクター・レコードがラスカルズ【古き十字架】のアルバム制作するにあたって、教会側の許可を受けに…、牧師さんが言った言葉は、今も忘れない「うちでは様々な音楽会に教会をお貸しています。ジャズだからといって断る理由は全くありません、どうぞ、ご遠慮なく…」 本当にラスカルズはいい人達に囲まれ、神からも祝福されている。羨ましい限りだ。